第 174 回京都 CSR 研究会ご案内の件　　2020 年 2 月 14 日

京都ＣＳＲ研究会事務局

京都 CSR 研究会ご賛同のみなさまへ

前略。立春を過ぎ、梅の香りが気になる季節になりましたが、皆様お元気のことと存じます。先月の研究会では、CSR のステイクホルダー・マネジメントの中で、とりわけ重要な従業員との関係で、メンタルヘルス分野での企業の配慮について、関西カウンセラーセンターの古今堂様、シオノギの沖野様よりそれぞれ縷々お話を伺いました。

今月のテーマは、SDG s の中でも、特に重要な 12 項目目（持続可能な生産、消費循環の実現）に焦点を当てて、その取り組み方のヒントを掴みたいと考えます。スピーカーは、昨今 LOHAS ホテルとして注目を浴びているスーパーホテル経営品質本部の芦村尚悟様、並びに、農民と消費者側の関係を課題として取材活動をされてきた放送作家の湯川真理子様のお二人で、これまでにない貴重な視座が得られるものと思料致しております。

SDG s の中で一番アプローチが難しいとされる未来型生産・消費サイクルの実現について考える良い機会になると思料しますので、どうぞ皆様ふるってご参加下さい。

なお、年も改まり,新たな気持ちで CSR 研究会をもり立てていきたいと考えておりますので、OB、OG の皆様もどうぞお顔をお出し頂いて、知見をご披露頂ければ幸いです。

記

１．　日時：　2020 年 1 月 31 日（金）　１８時半～

２．　場所：　京都キャンパスプラザ　2 階　第 2 会議室

３．　テーマ並びにスピーカー：

○「LOHAS に挑む～スーパーホテルの視点から」（仮）

芦村　尚悟様

スーパーホテル　経営品質本部 サービス管理部　課長

○「健康と食～放送作家の視点から」（仮）

湯川真理子様　放送作家

４．　本研究会は飲食しながらお話しをおうかがいする「ブラウンバッグ方式」を取っております。席上、茶菓などをご用意しておりますが、お弁当など適宜お持ち込みになってご参加下さい。なお運営費の一部として、受付にてワンコイン 500 円を申し受けておりますのでご協力頂ければ幸いです。

以上